

牧瀬菊枝 きくば 婦人問題評論家。明治四十四年九月三日靜岡縣富士市
 生れ（一九一一年）。昭和七年實踐女子専門学校國文科卒。十五年まぐら岩
 波書店勤務。この間牧瀬恒三と結婚。戦後鶴見和子の生活記録運動に
 参加、また思想の科遊研究會の活動にも加はる。
 著書に『美しいきくば』のたのび（主婦實業の記録）（昭和二十四年）
 『月く二十五日學生會書房』、『愛いなやみ死きおくれさるさるの』（今川堂）（昭和
 二十五年）『ぬく心』（合著・理論編集部編、昭和二十五年十一月十日理論社）、
 『現代女性十講』（合著・帶刀貞代監修、昭和二十五年十一月十五日
 日ナウカ社）、『しんまがく』と『ころんご』（村と町との生活記録集）（
 合著・淡路書房編集部編、昭和二十五年五月十一日淡路書房）、『民
 衆の産』（合著・思想の科遊研究會編、昭和二十六年六月十五日河出書
 房『河出新書』）、『心き裂かれし一母の戦争体験』（鶴見和子共編、
 昭和二十四年六月、二十五日新産書房）、『圖書心かむさこの女がらう一無
 産運動のかけこ』（昭和五十一年二月、二十日朝日新聞社『朝日選書』）、
 『丹野セツ―革命運動の生きたる』（山代巴共編、第五刷、昭和五十八
 年二月十日勤草書房）、『野上弥生子先生の思ひ出』（昭和六十年十
 一月一日白百合）等。

